



第71期 ビジネスレポート

2018年4月1日 >>> 2019年3月31日



綜研化学株式会社

証券コード：4972

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、ここに、当社第71期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)のビジネスレポートをお届けし、当社グループの事業概況をご報告申し上げます。

2019年6月
代表取締役社長 逢坂 紀行



● 当期の事業概況

当期の経済情勢は、国内では堅調な企業収益や設備投資、個人消費を背景に景気の緩やかな回復基調が続きましたが、米中貿易摩擦の長期化や地政学リスクの高まり、中国景気減速の顕在化による世界経済への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況にありました。

このような状況のもと、当社グループは、中国市場における液晶ディスプレイ関連分野を軸とした既存事業のシェア拡大と東南アジア・南アジア地域での新規市場開拓、グループ生産供給体制の最適化と高付加価値製品の開発・展開による収益性の向上、ナノインプリント事業と加工製品事業

の統合による新規事業の成長モデルの探索・構築、技術革新が進む自動車・ヘルスケア分野等での新製品・サービス創出のための研究開発体制の強化に取り組んでまいりました。

業績につきましては、人民元安の影響を受けて中国子会社の売上高の為替換算額が減少したものの、中国市場における液晶ディスプレイ関連分野のケミカルズの販売が増加したことや、装置システムの工事完成高が増加したことにより、売上高は2期連続で過去最高を更新しました。しかしながら、利益につきましては、原材料価格上昇の影響を大きく受けて、前期を下回る結果となりました。

● 中期経営計画「New Value 2019」最終年度に向けて

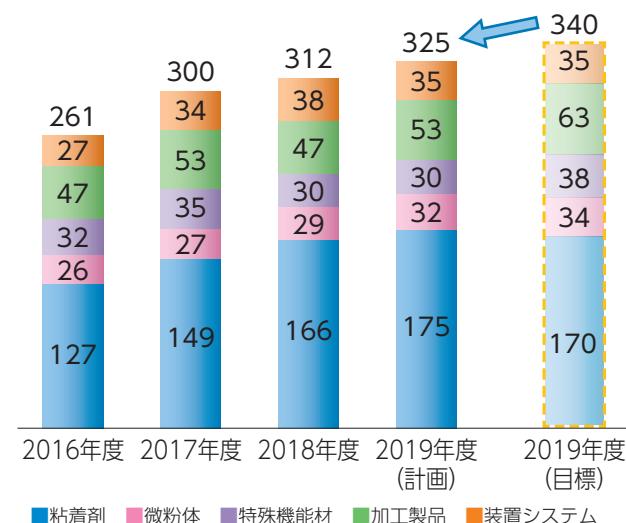
3か年の中期経営計画「New Value 2019」では、中国を中心にアジア地域での事業規模の拡大と収益性の向上を果たすとともに、新たな製品・サービスの創出などによる事業領域拡大に向けた成長投資を積極的に実施することを基本方針として掲げ、収益基盤の強化と持続的な成長路線の確立を目指しております。

中期経営計画最終年度の数値目標につきましては、原料価格の上昇や人民元安、スマートフォン関連の市況低迷などから達成は難しい状況にございますが、主力の粘着剤関連製品が中国での大型液晶ディスプレイ関連用途を中心にシェアを伸

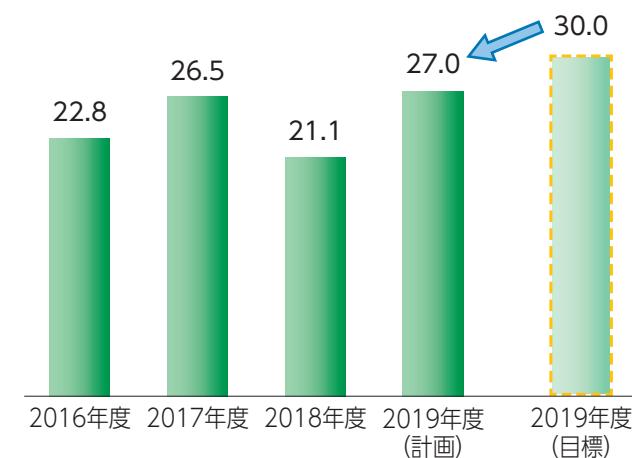
ばしており、今後さらなる販売拡大が期待できることから、中国南京工場、国内浜岡工場の生産能力増強投資を急ぎ、競争優位性の維持・強化を図ってまいります。また、自動車・ヘルスケア等成長分野での次世代製品・サービスの創出に経営資源を積極投入するとともに、グループ全体での販売・開発・生産体制の最適化を追求し、ニーズ対応力やコスト競争力を高め、環境変化に強い収益体質への転換を図ってまいります。

今後も皆さまのより一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

売上高(億円)



営業利益(億円)



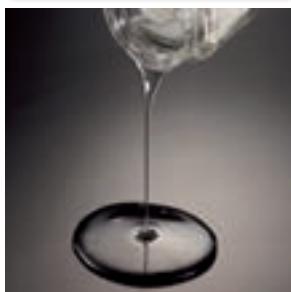
●次期の見通し

次期の事業環境は、国内・海外ともに、米中貿易摩擦の深刻化や地政学リスクの高まりから景気の減速感が強まっており、為替相場や原油価格の不安定化も懸念されるなど、先行きは予断を許さない状況が続くとみております。当社グループといたしましては、中国市場での大型液晶ディスプレイ関連分野の需要拡大に応じた生産・供給能力の増強、市場・顧客ニーズを先取りした製品開発・提案力の強化、付加価値の高い製品領域へのリソースシフトやグループ全体での販売・開発・生産体制の最適化による収益体質の改善、自動車・ヘルスケア分野等での新たな事業領域創出に向けた成長戦略推進体制の強化に取り組んでまいります。

次期の業績につきましては、粘着剤をはじめとするケミカルズの販売増により売上高は325億円、経常利益は26億円、親会社株主に帰属する当期純利益は20億円となる見通しです。

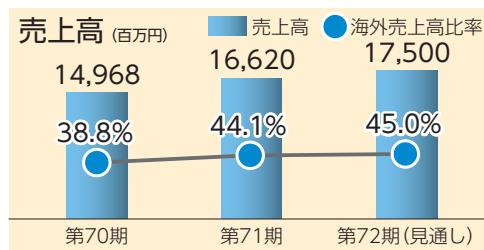
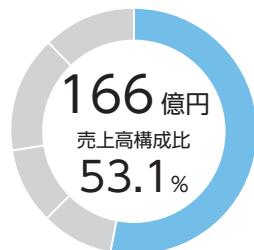
●商品ユニット別の概況

粘着剤



当期 中国市場を中心に大型液晶ディスプレイ関連用途向けの販売数量が増加したことにより、売上高は前期を大幅に上回りました。
次期 液晶ディスプレイ関連分野でのさらなる需要拡大に対応するため、生産・供給能力増強を推進するとともに、環境配慮型製品の積極展開やインドでの販売体制確立など、将来有望分野での事業領域の拡大に取り組んでまいります。

主な用途
光学フィルム
両面テープ
ラベル用

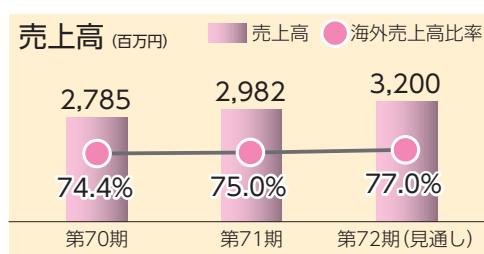
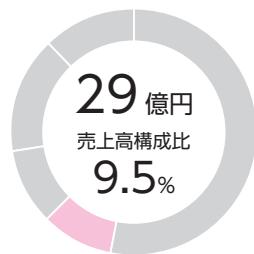


微粉体

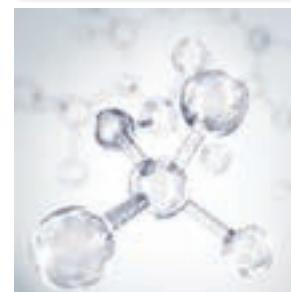


当期 中国市場における光拡散フィルム用途の販売数量が増加したことにより、売上高は前期を上回りました。
次期 主力の中国光拡散フィルム関連分野での生産・供給体制の再構築を進めるとともに、付加価値の高い製品領域での新規用途・顧客開拓、製品開発に注力し、収益体質の改善を図ってまいります。

主な用途
LCD用光拡散剤
トナー添加剤
化粧品



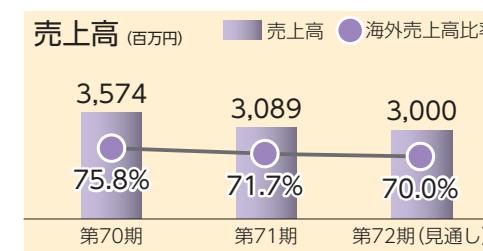
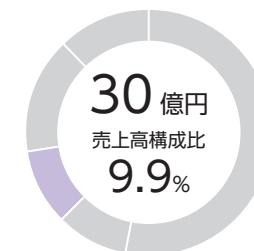
特殊機能材



当期 中国市場における電子回路材料用途の販売数量が減少したことにより、売上高は前期を下回りました。

次期 中国蘇州子会社の製品開発機能を充実し、顧客ニーズへの対応力を強化するとともに、建材・樹脂改質剤用途などでの新規案件獲得や新たな事業領域の探索に取り組んでまいります。

主な用途
電子基板材料
印刷インキ



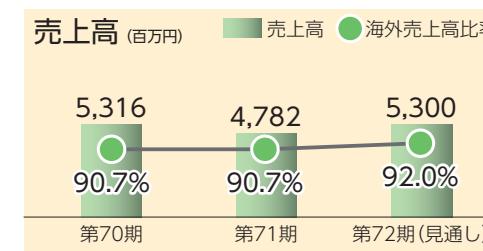
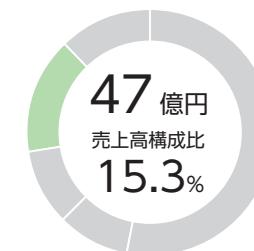
加工製品



当期 中国市場における情報電子機器用途の販売数量が減少したことにより、売上高は前期を下回りました。

次期 家電・梱包資材分野などでの量産案件の獲得やグループ全体での生産・供給体制の合理化などによる収益性の向上に注力するとともに、中国自動車市場を中心に需要拡大が進む環境配慮型製品の採用拡大に向けた取り組みを加速してまいります。

主な用途
情報電子機器
家電
建築



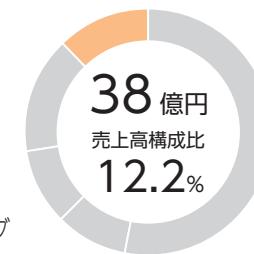
装置システム



当期 国内設備投資が堅調に推移するなか、設備関連の工事完成高が増加し、売上高は前期を上回りました。

次期 環境変化に強い収益基盤を構築するため、設備診断サービスの運営体制強化、独自のボイラー技術を活用した付加価値の高い製品・サービスの販売拡大に取り組んでまいります。

主な製品等
熱媒ボイラー
熱媒体
メンテナンス
プラントエンジニアリング

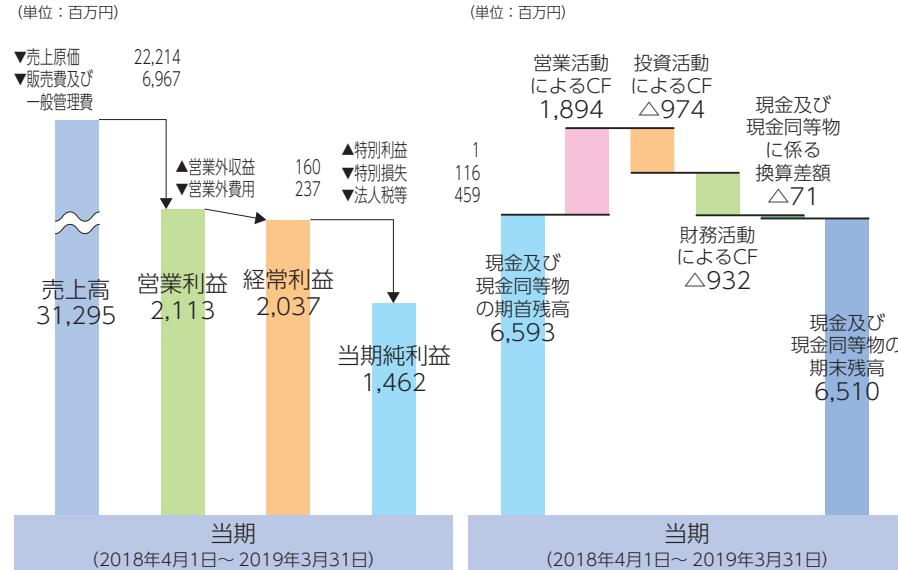


(2019年3月31日現在)

連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)

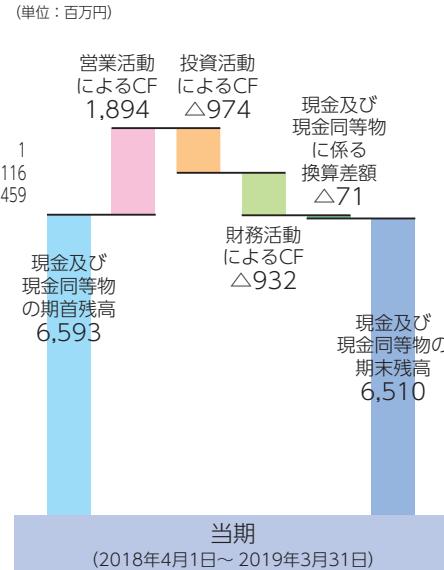


連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



注) 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を記載しています。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



Check!

- Point 1**
① 連結損益計算書
売上高は増加(前期比4.1%増)しましたが、原料価格上昇の影響を大きく受け、売上高営業利益率は前期8.8%から2.0ポイント悪化し6.8%となりました。
- Point 2**
② 連結貸借対照表
総資産は、設備投資に伴う有形・無形固定資産の増加などがありましたが、人民元安による中国子会社資産の為替換算額の減少により、前期末に比べて3億88百万円減少しております。

会社概要

社名 綜研化学株式会社

資本金 3,361,563千円

主要な事業内容

- ケミカルズでは、粘着剤、微粉体、特殊機能材、加工製品等の開発、製造、販売を行っております。
- 装置システムでは、装置・システムの販売、生産システムのエンジニアリング、プラントのメンテナンス、熱媒体油の輸入販売を行っております。

役員 (2019年6月25日現在)

- 代表取締役社長 逢坂 紀 行
代表取締役副社長 福田 純一郎
取締役 佐藤 雅 裕
取締役 泉 浦 伸 行
取締役 滝澤 清 隆
社外取締役 荒井 寿 光
社外取締役 土屋 淳
常勤監査役 今井 達 裕
監査役 榎 本 稔
社外監査役 鈴木 仁 志
社外監査役 布施木 孝 叔

事業所

事業所名	所在地
本社	東京都豊島区高田3-29-5
狭山事業所	埼玉県狭山市広瀬東1-13-1
浜岡事業所	静岡県御前崎市池新田8665-1

主要な子会社

- 綜研テクニクス株式会社
- 綜研化学(蘇州)有限公司
- 寧波綜研化学有限公司
- Soken Chemical Asia Co., Ltd.
- 綜研高新材料(南京)有限公司

発行可能株式総数

33,200,000株

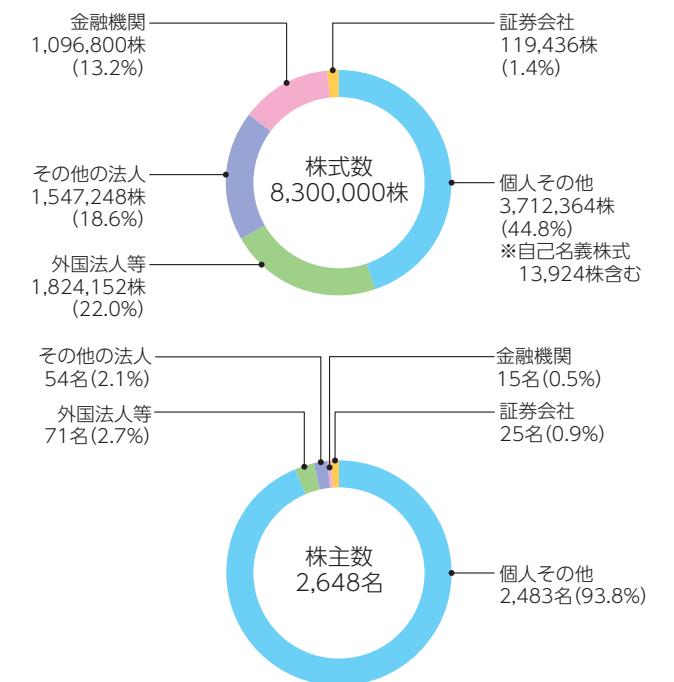
発行済株式の総数

8,300,000株

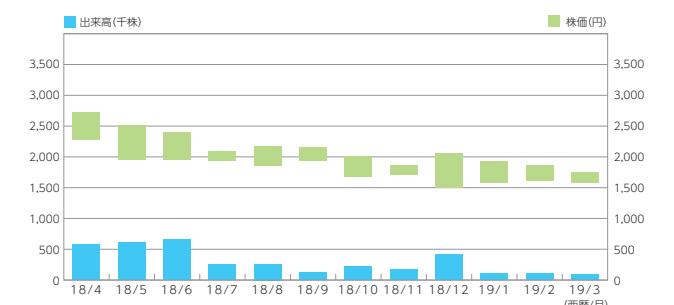
株主数

2,648名

所有者別株式分布状況



株価(高値・安値)および株式出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
期末配当金 支払基準日	3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031
単元株式数	100株
公告の方法	当社のホームページに掲載 URL: http://www.soken-ce.co.jp
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

綜研化学株式会社

Soken Chemical & Engineering Co., Ltd.

本社 〒171-8531 東京都豊島区高田三丁目29番5号
TEL: 03-3983-3171 FAX: 03-3988-9216
URL: <http://www.soken-ce.co.jp>



本レポートの表紙絵は、障がい者ライブラリー「アートビリティ」に登録されている、アーティスト小幡真さんの作品(作品名:「あじさいとカタツムリ」)を使用させていただきました。

小幡 真 (おばた まこと)

1963年生まれ。広島県在住。

病気で入院を繰り返している時に、娘と接する時間が多くなり、娘の笑顔を鉛筆で描くようになる。現在は、就労継続支援B型のアートに力を入れている事業所に出会い、日々絵を描いている。

2016年「あいサポートアート展」入選。

2017年「広島市ピースアートプログラム アート・ルネッサンス」入選。

当社ホームページのご案内

当社の決算情報や適時開示情報などのIR情報がご覧になれます。



<http://www.soken-ce.co.jp/>